

## 令和2年度生駒市立病院管理運営協議会第3回会議録

- 日 時 令和3年3月22日（月）午後8時00分から午後9時05分
- 場 所 生駒市立病院7階 講堂・交流センター

### ■ 出席者

- (1) 会 員 小紫 雅史、遠藤 清、山上 正仁、前野 見依子、佐野 いづみ、岡島 保弘、森岡 文夫、藤澤 清二、浅岡 弥生
- (2) 事務局 【生駒市】山本副市長、古川特命監、近藤福祉健康部長、石田福祉健康部次長、桐坂地域医療課課長補佐、奥野病院事業推進係主査  
【指定管理者】辻川看護部長、岸田事務部長、吉松総務課長

- 傍聴者 なし

- 会議の公開・非公開の別 公開

### ■ 会議の内容

#### 1 開会

**【事務局(市)】** 定刻になりましたのでただいまから「令和2年度生駒市立病院管理運営協議会第3回会議」を開催いたします。

本日は、お忙しいところご参集いただき、誠にありがとうございます。

城谷会員は所用があり欠席されますが、過半数の会員にご出席いただいておりますので、生駒市立病院管理運営協議会設置要綱第6条第3項の規定により、会議は成立しております。

また、本会議は同要綱第7条の規定により公開としております。会議録作成のため録音させていただきますのでご了承の程、よろしくお願いいたします。

それでは、本日の配布資料について確認させていただきます。

会議次第、令和3年度生駒市立病院事業計画書、令和3年度生駒市立病院事業計画書説明資料、それと訂正箇所がありましたので、会員の皆様方に訂正の正誤表を置かせていただいております。中身については後程係りの方から説明させていただきますのでよろしくお願いいたします。それでは、次第2「会議内容の確認」について、当協議会は、市立病院の管理運営に関する事項について協議し、市民等の意見を反映させることで、健全な管理運営及び市民参加の病院を実現することを目的として開催するものです。

7月に令和元年度の事業報告、12月に令和2年度の間接報告をさせていただきました。本日は、新年度の市立病院の事業計画についてご報告するために開催させていただきます。

それでは、以後の進行は協議会設置要綱第6条の規定により、市長が議長として進めさせていただきますので、小紫市長、よろしくお願いいたします。

**【小紫会長】** 皆さんこんばんは。本日は年度末の大変お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。生駒市立病院管理運営協議会の開催ということでございますが、本日は3期目の最後の会議ということで、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかったこともありまして、あっという間に3期目が終わってしまうような感じも出ております。この2年間大変お世話になりました。皆様に心から感謝を

申し上げたいと思います。今日もよろしくお願いいたします。

市立病院ですけれども、色々な課題を抱えながらも一定軌道に乗り始めているということで考えておりましたところ、新型コロナウイルス感染症が直撃をしたというところがございます。しかしながら、遠藤院長はじめ、事務局の皆様と我々職員もそうですけど、感染の防止に務めていただきながら、積極的に市民の安全、安心を新型コロナウイルスから守っていただいたということで、感謝申し上げます。同時に新型コロナウイルス感染症の影響が来年度も当然残っていく中で、もしかしたら変異株の関係でまだまだ予断を許しません。そんな影響が避けられない中、令和3年度の事業計画をどのようにしていくのか。新型コロナウイルス感染症の対応をしながら、次の市立病院の経営というようなものを考えていかなければいけないというような非常に難しい1年になるかと思っております。

そんな中での市立病院の令和3年度の事業計画書でございますので、本日は皆様のご意見をいただきまして、コロナ禍でございますが、未来へ向かっての市立病院の経営をしっかりとしていくためにも闊達なご意見をよろしくお願いいたします。

この件でお世話になりました皆様に感謝を申し上げますと共に、しっかりとこれからも令和3年度も市立病院の経営を進めていきたいという決意表明を含めまして、私からの挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

それでは、本日の会議を進行していきたいと思っております。

9時30分を目途に進めたいと思っておりますので、闊達な意見をたくさんいただきたく思っておりますので、よろしくお願い致します。

それでは、事業計画について、事務局から説明をお願いします。

**【事務局(市)】** それでは生駒市から令和3年度生駒市立病院事業計画書についてご説明申し上げます。

まず、令和3年度生駒市立病院事業計画書の13ページ、収支計画のところでございますが、事前にお配りさせていただきました資料から修正がございます。修正資料といたしまして収支計画修正箇所一覧表の方をお手元の方にお配りさせていただいておりますので、ご覧になっていただければと思います。

修正箇所につきましては、下から6行目医業外収益のその他収益及び医業外費用のその他費用につきまして修正がございました。こちらにつきましては、職員の給食代に係る収益及び費用を医業収入及び医業原価へ振り替えたことによる修正でございます。

次に、令和3年度生駒市立病院事業計画書説明資料でございます。27ページ部分につきましても、収支計画箇所一覧表のとおり、医業収入、医業費用、医業利益、医業外収益及び医業外費用につきまして修正させていただいております。修正後の資料をお手元の方にお配りさせていただいておりますので、ご確認の方をよろしくお願い致します。

また27ページの説明資料につきましては、会員の皆様方から非常に分かりづらいというご意見がございましたので、記載の方も改めさせていただいた上で、お手元の方にお配りさせていただいておりますのでご確認いただければと思います。比較の対象を修正させていただきました。差し替えご確認の程、よろしくお願い致します。申し訳ございませんでした。

それでは令和3年度生駒市立病院事業計画書の説明に入らせていただきたいと思っております。

令和3年度生駒市立病院事業計画書の目次をご覧ください。本事業計画書につつま

しては、「1 医療提供計画」「2 施設管理計画」「3 組織図」「4 収支計画」の4部構成となっております。

事業計画の策定に当たりましては、令和元年度実施状況調査報告及び令和2年度中間報告を経て、当管理運営協議会にて頂戴したご意見や評価結果を計画に反映させた内容となっております。それともう一種類の資料、令和3年度生駒市立病院事業計画書説明資料をご準備願います。こちらにつきましては、どのように計画に反映させているのかなどの内容がわかりやすいように、説明資料として配布させていただいたものです。本日は主にこの説明資料に沿って説明の方をさせていただきます。

1枚めくっていただきますと、右ページに目次がございます。さらにめくっていただきまして、1、2ページをお願いいたします。

説明資料の見方といたしましては、左端から、病院事業計画、令和元年度事業報告、令和2年度中間報告、そして右ページにいきまして、両報告をもとに抽出された課題等を表記しておりまして、右端が今回ご意見等を頂戴いたします、令和3年度事業計画となっております。

令和3年度事業計画で、抽出された課題がどのように計画に反映されているのかが分かるように、課題に対して、計画に反映している部分を下線表記させていただいておりますので、ご確認をお願いいたします。

それでは、本説明資料の詳細につきましては病院から説明申し上げます。

よろしく申し上げます。

**【事務局(指定管理者)】** 市立病院の岸田でございます。それでは説明資料の1、2ページの事業計画をご覧ください。

「診療科目」でございます。令和3年度は、前年度から引続き16診療科で診療を行います。

既存の診療科の医療内容の充実を図るべく、常勤医師の確保とともに、より高次、専門性の高い医療機関との連携体制の構築を図ります。

次に、3・4ページの「病床数」でございます。病床利用率の向上に向け、入院医療に対応できる常勤医師の確保、地域医療機関との連携強化による紹介患者の受け入れに取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症患者及び疑似症患者の入院受け入れのための感染症病床として、感染症患者用病床12床及び疑似症患者用病床4床を引き続き確保いたします。

また、小児科の常勤医師のさらなる増員により、小児科の救急医療や入院医療の体制を整備し、北和小児科二次輪番へ参加します。

続きまして、5・6ページ「人員体制」でございます。

常勤医師は、合計で25名を計画しております。看護師数は外来部門が42名、入院部門が98名で合計140名を計画しております。

なお、これら医療従事者の確保、とりわけ、医師の確保につきましては、特に常勤医師が不在の脳神経外科、整形外科を中心に常勤医師の確保、増員を図ります。

続きまして、7・8ページの「患者数」でございます。

一日平均患者数は、年度当初は、入院125.0名、外来229.0名から始まり、年度末には、入院140.0名、外来251.0名を目指す想定で、年間の一日平均患者数が入院132.8名、外来238.0名でございます。

また、入院及び外来患者数の増加に向けた取組みといたしまして、市立病院の医療に関する必要な情報の積極的な提供、市民への周知の取組みとしては、ホームページに加え、LINE公式アカウントでの配信、病院だよりの発行といった広報活動の充

実や、地域の医療機関への周知の取組みとしては、地域医療連携室による地域の医療機関への情報提供の推進でございます。

続きまして、9・10ページをご覧ください。

市立病院のコンセプトの「質の高い医療の提供」でございます。

本年度においても、引き続き安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、患者にとって最適な治療・ケアを提供していきます。

本年度の手術件数の目標ですが、全体で1,360件をいたします。また、診療科毎の目標値もご覧のとおり掲げております。分娩件数について、160件としております。

また、導入の新規予定機器については、超音波診断装置の更新やモニターの増設を計画しております。

続きまして、11・12ページをお願いします。

「主要4疾病に係る医療体制」として、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病について、提供できる医療機能や役割を明記させていただいております。

また患者満足度の向上については、入院・外来患者アンケート調査結果、ご意見箱の内容への対応等についての、ホームページや病院だよりでの公表、院内スタッフ対象の接遇研修の実施などを掲げております。

続きまして、13・14ページをご覧ください。

医療安全管理体制につきましては、市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会、医療安全カンファレンス、医療安全勉強会を定期的実施し、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めます。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えて、PCR検査体制、新型コロナウイルス感染症患者の入院受入体制及びワクチン接種体制など、目めぐるしく変化する新型コロナウイルス感染症の状況に臨機応変に対応します。

続きまして、15・16ページをご覧ください。

地域完結型の医療体制構築への寄与といたしまして、地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ります。

具体的には、増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行います。また、入退院支援チームの推進、市の入退院調整マニュアルの積極活用により、円滑な入退院の推進を図ります。また、地域医療機関への医療教育プログラムの提供につきましても計画をしております。

続きまして、17・18ページでございます。

医師会への情報提供を積極的に行い、医師会への入会を目指します。

また、地域の診療所との地域医療連携推進のため、引き続き医療機器の共同利用を推進します。

さらに、地域の医療機関との病病・病診連携及び協力体制を重視し、さらなる紹介率、逆紹介率の向上を目指します。

また、地域医療連携推進のため、地域連携室の専任職員が地元医療機関を積極的に訪問し、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行います。

続きまして、19・20ページをご覧ください。

救急医療の充実につきましては、救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24時間365日受け入れ体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実を目指し、救急受入件数1,700件、救急応需率95.0%を目指します。

また、市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向け、引き続き関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、輪番病院等のバックアップの役割を果たします。

さらに、奈良県と情報交換をしながら、小児二次医療体制の整備に努め、北和小児科二次輪番へ参加します。

続きまして、21・22ページをお願いします。

救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を引き続き整備します。特に脳神経外科、整形外科等の常勤医師の確保に努め、当直・オンコール体制のさらなる充実を目指します。

続きまして、23・24ページをご覧ください。

小児の救急対応、入院患者の受け入れ等小児二次医療体制の整備を行い、北和小児科二次輪番へ参加をいたします。

次に、災害時医療の確保につきましては、大規模災害時において、傷病者の受け入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備し、災害対策マニュアルに沿って、現場スタッフや、状況に応じては地域住民も参加する実地訓練を行います。

予防医療の啓発につきましては、市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を、医療講演会を通して提供します。

特に、市民の健康づくりや疾病予防を促進するため、院内講演の充実に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況をみながら、自治会等各種団体への出張講座を積極的に実施いたします。

また、市民の幅広い年代層が健診を受けやすくするように努めます。

続きまして、25・26ページをご覧ください。

市民参加による運営では、市民の意見の反映の仕組みといたしまして、入院・外来患者アンケート調査の結果、ご意見箱の意見、改善の取組み及び対応できない理由について、院内掲示、ホームページでの公表、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会への報告など広く市民等に周知いたします。

また、市民交流事業として、健康フェスティバルや院内コンサートなどの開催を予定しております。

また、「環境に配慮した運営」はご覧のとおりでございます。

続きまして、今期の事業計画書の11ページ「2 施設管理計画」をご覧ください。

昨年同様、保守点検項目や点検時期など細かく計画に明記し、施設や設備の計画的、効率的な維持管理を推進させていただきます。

なお、外部委託業務内容は、12ページの「3 組織図」の右下に記載をしております。

続きまして、「4 収支計画」でございます。13ページをご覧ください。

年度の中間期の9月末と期末期の3月末の収支計画を表記しております。

まず、中間期の令和3年9月末時点での収支見積もりでございますが、一日平均入院患者数は、上半期の平均で127.5人、外来患者数は、236.2人としており、上半期の診療収入は、19億4,175万円を見積もっております。

表の中央あたり、医業費用合計は、人件費の11億7,079万円を含めて、上半期で19億6,249万円と見積もっており、医業利益としては、マイナス409万円を想定しております。また、その他費用、医業外収益、医業外費用を差し引きし、上半期時点での経常利益としては、マイナス1億1,963万円を想定しております。

次に、期末期の令和4年3月末時点での収支見積もりでございますが、一日平均入院患者数は、年間平均で132.8人、外来患者数は、238.0人としており、令和3年度の診療収入は、39億9,655万円を想定しております。

表の真ん中あたり、人件費の23億4,225万円を含め、医業費用合計は39億6,287万円と見積もっております。医業利益としては、661万円を想定しております。また、その他費用、医業外収益、医業外費用を差し引きし、令和3年度の経常利益としては、マイナス1億6,445万円を想定しております。

令和3年度生駒市立病院事業計画書については以上でございます。

**【小紫会長】** ありがとうございます。

それではいつもどおり項目ごとにご質問をいただくというような形にしたいと思います。

それでは、説明資料の1ページ目と2ページ目の診療科目につきまして、ご質問ございますか。よろしいですか。

それでは次に進みます。3ページ目、4ページ目、病床数こちらにつきましてご質問ございますか。

それでは続きまして、5ページ目と6ページ目、こちら人員体制でございます。ご質問ございますか。

岡島会員、よろしく申し上げます。

**【岡島会員】** 中間報告の時に血管外科の方が1名となっているのですが、現在0名となっています。血管外科は、医師が0名でも稼働はしているものか、止めてあるものか確認したいと思います。

**【遠藤副会長】** 血管外科の医師が循環器と兼務で診ています。例えば、先日もありました血管の緊急手術は、その医師が行っていますので、どこかの診療科に割り振らなければいけないということで、主に今は循環器の仕事をされているという形でこちらに振っています。血管外科の色々な手術をこの医師がしていますので、止めているわけではありません。

**【岡島会員】** ありがとうございます。

**【小紫会長】** ありがとうございます。それでは他にご質問ございませんでしょうか。では前野会員よろしく申し上げます。

**【前野会員】** まず小児科の常勤医師が2名ということですが、何年もの間、0が続いていましたので、非常に喜ばしく思っております。どのようにして増員の努力をされたのか、お答えいただける範囲内でお願いたします。もう1件よろしいでしょうか。形成外科の医師ですが、増えたり、減ったりとか。聞くところによりますと、整形外科の医師がいらっしゃらなくなって大変という噂を市民から聞いております。私の個人的見解なのですが、福利厚生で例えば、職員の皆さんの住宅のある程度の保障、あるいは借上げ等があるとか、あるいは生駒は教育が充実しているということで、生駒に住んでいる事実がありますので、その辺をアピールしていただくとか。やはり職員の定着を図っていただきたいなと考えております。回答できる範囲内で結構ですので、お願いたします。

**【遠藤副会長】** 小児科の常勤医師が増えてきたことに関してですが、以前から小児科の入院できる施設が非常に少ないということが問題になっていました。

当院も開院以来小児科及び産科が課題でありましたので、ずっと募集をかけていたところ、まず1人の先生が来られてから、特に努力というか、努力はいつもしている訳ですが、変わったことをした訳ではなく、やはり来た先生の動きを見ていますと、やる事が非常にあって充実されています。

1人のときより2人の常勤の先生になられて、今非常に充実してしまっていて、3人目の先生が見学に来られても、充実しているという形で、やはり0名のところに来るよりも、診察している先生の仕事振りを見たり、または話をしたりすることで、以前はもしかしたら見学に来て就職に至らなかった事であるのですが、そういう事が最近では小児科に関して言えば、確実に仕事がしっかりできるという形で3人まで増えたという経緯だと思っています。

それから形成外科の方は増えたり減ったりというよりも、若い先生が来て、当院の形成の先生に教えていただくというもので、2人くらい常に研修として来ているわけですね。その先生たちが出て行く、その2人が1人だったり、3人だったりという形ですので、その数が増えたり減ったりしているのです。

最後に整形外科の話ですが、確かに現在整形の常勤医師がいませんので、かなり痛手というか、交通事故等で、整形外科の患者さんの場合、それでも当院は先程の報告にもありましたが、応需率はかなり高い方です。応需して、骨が折れているとかいう場合には、近隣でも阪奈中央病院であったり、倉病院であったり、整形外科に強い病院がありますので、まず当院で全身状態、それから、24時間検査がMRIもできますので、例えば骨が折れているけれど、頭の中に出血があったりしないのだろうかとか、何か他の病気がないのだろうかを検査した上で、安心して整形外科の骨折だったりの患者さんを送って、転送先の病院で診ていただいています。

ただ、やはり大変な事は大変で、色々な先生たちが非常勤ですけど入られて、今後非常勤の医師の中から常勤が出ないかなと期待はしているところです。最後の取組の方は事務の方から説明をお願いします

**【事務局(指定管理者)】** 手当の件ですが、先生方が住宅を借りられる場合に敷金とか権利金の補助は行っております。住宅手当についても医師には住宅手当を出しています。

**【前野会員】** ありがとうございます。

**【小紫会長】** よろしいでしょうか。それでは、山上会員、お願いします。

**【山上会員】** また小児科の事ですが、小児科の二次輪番に参加したいというお話が出ていますのですが、実際、今常勤医師が2名おられて二次輪番の回数にもよると思うのですが、なかなか2名でできるかなというような事を思っております。何名くらい常勤がおられたら参加できるというように考えておられるのか、ご意見をお伺いしたいのですが。

**【遠藤副会長】** 4月からもう1人増えます。3名体制に4月からなりまして、二次輪番にすぐというのではないのですが、10月から輪番の会議がまたあるので、4月

からはここにも書きましたけど、当直と夕診を月2回ですけれども始めるということで、今まで本当に夜間に関して言うと中々当院もこの地域の小児科で力を出せなかったのですけれども、先ほどもお話をさせていただいたように、非常に前向きに、こちらがやってくれと言う前にその話が出てきているくらいなのですね。やはりそういう先生方が来られて、しかも力のある40代前半の先生が来られてですね、非常に精力的にこれから変えていこうというようにしているようです。来年はもう1人増える可能性があって、そうすると、かなりな体制を敷けるのではないかなど。それを踏まえて10月くらいから小児輪番も月1回か2回でしょうけどその辺りのことを考えているというところです。

**【小紫会長】** ありがとうございます。それでは、森岡会員お願いします。

**【森岡会員】** リハビリテーション科が0のままですが、いろいろな状況が考えられると思いますが、できる範囲で説明していただけるとありがたいなと思います。

**【遠藤副会長】** すいません。ずっと0になってしまいましたが、まず一つはリハビリテーションを専門とする医師数は、やはりリハビリテーション病院やそういうところではある程度収束されていますけれど、一般病院でリハビリテーションの単独の医師というのは、中々確保しにくいところは確かです。ただ今度6月から脳神経外科の医師が来られます。そうするとやはりリハビリテーションの需要が非常にもっと高まっていくはずですし、これは先ほどの小児科も一緒なのですが、ここでこういうことができるということが皆さんに知れ渡ること、「ここでも仕事をしよう」ということで、そういう人が応募してくれるのではないかなど。今は脳神経外科と整形外科がないと。脳神経外科と整形外科はリハビリが半分どころか、7割、8割じゃないかと思いますので、それが無い病院にわざわざリハビリの先生が来ること自体が考えにくくて、この6月から脳神経外科の医師が来られて脳神経外科の患者さんがきちんとリハビリテーションをして復帰していくという状況になった時に、やはり本当にそこでやりたいという人が応募してくれるのを今待っているというところだと思います。

**【小紫会長】** ありがとうございます。5・6ページ目よろしいでしょうか。もし何かあればまた後で戻ってきていただければと思います。

それでは次、7・8ページ目、患者数のところで何かご質問ございますか。よろしいですか。

はい、それでは9ページ目からちょっと分量が多いのですが、14ページ目までが質の高い医療の提供ということになっています。この範囲の中で何かご質問ございますか。いかがでしょうか。はい、佐野会員お願いします。

**【佐野会員】** このコロナ禍で、分娩件数が令和2年4月から令和3年1月で138件あるのですが、この厳しい中でも、やはり入院していただき出産して下さる方がいるということは少しずつ評判が上がってきているのかなと思ってうれしく思いますし、小児科の常勤医師が3名になるというのもあるので、子どもさんにとってすぐ質の高い医療が提供できるのではないかと喜んで喜ばしく思っております。

**【小紫会長】** ありがとうございます。他に何かご意見ございますか。よろしいですか。



それでは、次に進ませていただきます。18ページ目までは地域完結型の医療体制構築への寄与で、15から18ページまでの4ページになっております。こちらにつきまして、何かご質問ございますか。

続きまして、19ページ目から22ページ目まで、こちらが救急医療の充実でございますが、こちらにつきまして何かご意見ございますか。

23・24ページにつきましては3つございます。小児医療の充実、災害時医療の確保、予防医療の啓発の3つでございますが、まとめて何かご質問ございますか。3つのうちのどの項目でも構いません。

それでは最後の25・26ページ目で、市民参加による運営、環境に配慮した運営、こちらにつきまして何かご質問ございますか。よろしいでしょうか。

一通りざっと見てまいりましたが、市立病院の経営、運営に関する全般的なお話でありますとか、そう言えば質問しようと思っていたのに忘れていたというようなことや全般的なご質問ございましたら。よろしいですか。

それでは、特に追加はないようでございますので、令和3年度の生駒市立病院事業計画につきましては以上とさせていただきますが、この計画内容で進ませていただきたいと思っております。また今回のこの事業計画につきましては、今後いろいろなところで報告をしていくということになるかと思えます。

それでは、案件としましては以上となります。その他としまして、新型コロナウイルス感染症のところでは何かありますでしょうか。

**【事務局(指定管理者)】** 当院の新型コロナウイルス感染症に関する経過と申しますか、簡単に報告をさせていただきます。昨年度の4月1日より帰国者・接触者外来を開始いたしました。救急外来の一室でスタートさせていただきました。

それから同じく4月14日から、重点医療機関として指定されまして、疑似症患者の入院の受け入れの開始をいたしました。このときは5階東病棟で4床室と特室の5床で稼動いたしました。それから色々準備がありまして、救急外来で新型コロナウイルス感染症の疑いの患者さんと、救急が重なったりしますので、できる限り疑いのある患者さんは建物の外で何とか診させていただこうと思ひまして、正面玄関前にプレハブの診察室を2棟用意させていただきました。11月1日より有熱外来ということで、開始させていただいております。

それから、生駒市と協議を重ねまして、病室に陰圧病室がありませんでしたので、市に協力いただきまして、5階の個室6床の陰圧化工事を開始しまして、年末に何とか病室内部の完成ができましたので、年明けに消防本部の方に検査していただき、1月5日から陽性患者の受け入れを開始いたしました。個室12床、それと4人床4室で疑似症患者、合計16床で開始をいたしました。1月が延べで言いますと、陽性患者200名、疑似症患者が27名、2月が陽性患者延べ185名、疑似症患者15名、3月13日現在ですが、延べ陽性患者53名、疑似の方が11名、3ヶ月トータルで、延べ陽性患者438名、疑似症患者が264名入院をしていただきました。今で6名の方がまだ入院中でございます。

それからワクチン接種の取り組みの方ですが、2月22日にディープフリーザーの設置がされました。基本型の接種施設という形で位置づけをいただいて、設置をいたしました。3月8日から市立病院の職員向けに医療従事者として優先接種を開始しました。今で213名が1回目の接種を終わっています。26日に追加が入って、2回目の接種が来週の月曜日から始まります。4月に入ってから残りの職員向けに接種が始まります。また市民の高齢者向けのワクチン接種ですが、第一便の650名分

を4月19日の週の予定ですが、ここのこの場所で、7階の講堂で開始をしようと思っております。職員向けに先に行っていますので、同じようなスタイルでやろうと思っております。報告は以上でございます。

**【小紫会長】** はい、ありがとうございます。会員の皆様から何かありますでしょうか。

コロナウイルスの関係で、少し皆さんご関心もあるかと思われましたのでご報告をいただきました。それでは特に本日予定していました議題、令和3年度事業計画につきまして、意見交換をさせていただきましたことと、それに加えて、その他ということで新型コロナウイルスの市立病院における対応というもののご報告をいただきましたが、それ以外に何か事務局の方からご報告することがございましたら。

はい、どうぞ。

**【事務局(市)】** 失礼いたします。会員の皆様、ありがとうございます。

冒頭で市長からもありましたけれども、今期第3期の会員の任期といたしましては、3月末をもって満了となります。

4月以降に、第4期の会員の皆様に参加依頼をさせていただく予定でございますので、よろしく申し上げます。

なお、本日の令和3年度生駒市立病院事業計画書につきましては、この後生駒市議会にご報告をさせていただきます。また、次回の会議につきましては、7月頃を予定しております。令和2年度の生駒市立病院事業報告書について実施状況調査を行い、第4期の会員の皆様方にご意見をいただく予定でございますので、よろしく願いいたします。事務局からは以上でございます。

**【小紫会長】** それでは、院長先生申し上げます。

**【遠藤副会長】** 今日は皆様ありがとうございます。色々なご意見を参考にして、これからもやっていきたいのですが、本当に新型コロナウイルス感染症で終始してしまったこの1年だったような気がします。それに関して個人的に思うことがありまして、少しだけお時間をいただきたいと思えます。

業績の問題もありますが、新型コロナウイルス感染症に対しまして、最初は外来から始まり、最終的には陽性患者を受けるところまでいきました。市立病院としてどうあるべきかということをお問われた1年だったと思えます。

やはり新型コロナウイルス感染症に関しまして、風評被害がひどくてという話から、院内でも陽性患者を取るべきではないと、外来はまだしも陽性患者を中に入れるべきではないという意見が多くて、それをどうしていくのか。ただ医療者として、市立病院として、この公共性の高い医療をするべきではないか。周りがしないからいいのだ、大きい病院ですればいいんだということではないだろうということで、色々協議を重ね、あとは市との協議で、先程の陰圧化病室であったり、帰れない、家に帰るのに少し不安な職員がいる場合には、宿泊施設を確保したりするというような形の様々な取り組みをしました。最終的に少し遅れましたが、1月から陽性者を受け入れまして、しかも遅れたかなと思った1月が非常にピークで、12床の個室病室がほぼ満床で推移するという形でした。生駒市民にとって、役に立てたのではないかなと思っております。

その中で課題は、災害ではないのですが、災害というほど確実に明日、いや来週、

下手をすると2、3日後というところに何かをしなければならないという非常に色々な事を考える時間がないような、医療の体制を構築していかなければならない。それはソフト面もハード面も、という中で物資も調達しなければいけない。それからスペースも確保しなければいけない。こういう事っていうのは、新型コロナウイルス感染症だから、そういう事が出来たと思いますし、これから同じような事が起きる可能性はいくらでもあります。

そのために、今まで想定しなかったことが起こって、病院も対応していかなければいけないということで、今見直しをしながらどういう体制がいいのだろうかという事をしていきます。

生駒市立病院管理運営協議会が、どういうスタンスでやっていくのかということもありますが、皆さんの頭の中に、通常の医療の中で、これくらいやればいいのかということであるとすると、ほとんど対応できていない。さらにこのような場で話し合う事すらできない。逆に話し合う時間がない、話し合う機会を持ってない、どうやって新型コロナウイルス感染症に対応していったらいいのか、誰も答えもない中で、やっていかなければいけないという場面があるのだなと思いました。

以前、森岡会員が、災害に関してどうしているのかという問いに、山を越えて物資が届かないなどの話をされていましたが、今回、新型コロナウイルス感染症も物資はどうなるのだろうか。私たちも含め患者さんを守るために必要最低限の物資をどう確保するか、今のワクチン接種もそうですが、究極的にはまだ解消されていないという問題をどうしたらいいのか。市長も含めて市の方とも話し合っ、また県の方とも話し合っているところだと思いますけど、病院というものが一日の診療だけではない社会的な色々な動きに非常に大きく絡んでいるのかなと。特に市立病院としての立ち位置はそうなのかなというところで、医師の数も大事なのですが、今後はどのように動くべきなのだろうかというのを私達も考えていきますが、例えば市民のみなさまが、災害に関してもそうでしょうし、新型コロナウイルス感染症を踏まえた突発的な事態が起こった時にこう動いてほしいとか、こう動くべきなんじゃないかなと、もっと反映できるような会議があれば、何かしら大きな意味での病院の方向性を、僕らも持っていますが、生駒市としてどういうように思っているのかということやそれぞれの立場の中で言ってくれるといいのかなと、今も言っていると思っていますが、もっともっと社会的なそれぞれの立場の中で絡めていくような会議ができるのではないかと、今回新型コロナウイルス感染症を経験して思った次第です。

一般的な話も皆さんの問いに合わせていきたいと思って、色々努力して、先ほどお話しさせていただきましたが、小児科常勤医師も3名になりました。産婦人科の常勤医師も3名になったのですね。非常に充実しています。最初は今村総長が一人で対応していたところが、今は3名もいるのです。というのは開院の時に公約の中にありました小児科医療それから産婦人科を中心とした母子の医療は、ほぼ展開できてきたのではないかなと思っていますし、さらに充実するという予定があります。この病院がどういう形になるのか非常に楽しみで、また脳神経外科医師も来ますので、どんどん前に進んでいきますし、またコロナはコロナで終息していませんので、ここにも書いてありますが、病床も増えるかもしれません。今増えてもいいような体制に病院の中を構築していきたいと思っていますので、またそういう所は、変われば次の会議で話をしていきたいと思っています。今までありがとうございました。

**【小紫会長】** ありがとうございます。本当にコロナ対応で、色々実際私も先月朝礼にも参加させていただいたり、陽性患者さんが入院している病棟にも行かせていた

だいたりしましたけれども、医療スタッフの皆様もご家族がいたり、高齢の方と同居していたり、お子様がいたりなど、色々なご意見がある中で、院長先生をはじめ市立病院として、コロナの対応に真正面から向き合っていたことをもっと知っていただきたいと思います。今この場に来ていただいております皆様には、そういう事をお伝えいただいて、生駒市立病院がそのような形で対応いただいているのを色々な方にお話していただければありがたいと思います。

まさに指定管理という形で受けていただいておりますけれども、市立病院というパブリックな部分も非常に重く受け止めていただいて、色々なご意見、色々なリスクがある中で、ご決断していただいたということで、コロナ対応が非常に生駒市では進んだというように思っています。

また、そのような忙殺される中で、先程の小児の輪番体制に入っていく方向性で、医療スタッフの充実、医師の先生方の充実も平行して進めていただいたということでございますので、そういう意味では大きな1年になるのではないかと思います。

先程の院長先生の話の中にもありましたけれども、今後生駒市としてもしっかりと、特に災害対応やコロナもまだ終わっていませんけれども、こういう感染症とか、今年は50周年でもあるのですが、総合防災訓練もあって、森岡会長にもお世話になりながら、色々な方が参加していただく様な形での災害対策もするのですが、緊急時の市立病院の役割とそれをいかに迅速かつ適切な医療をしていただけるかというようなところで生駒市として何をしっかりしていくのかというようなこと、緊急時の医療体制の整備というようなところには、スピード感を持った我々の方での意思決定というのにも必要になってくるでしょうし、その辺りを具体的にしっかりと考えさせられたというか、もう一度改めて考えなければいけないなという風に思っています。

それに加えて、管理運営協議会がそうですけど、医療関係者の方だとか、市民の代表の方もたくさん来ておられますので、先程の生駒市立病院で今やっている課題ももちろんなのですが、このようなことで大きく動いているということを皆様方に発信していただくことも大変ありがたく思いますし、同時に災害の時の病院のあり方がありますとか、先日病院事業推進委員会がありましたけど、そちらでも市民の方などからの意見として、市民と医療と福祉も含めた形の何か話し合える場がないかなと、ご自身でもそういう活動されている方のご意見でしたけども、そんなご意見もございましたので、今の遠藤先生のお話も踏まえて管理運営協議会自体がもちろんそういう場でもあるのですが、ぜひそんな議論も含めて、またここでの議論が生駒市立病院の場なのですが、医療と福祉のつながりと医療と福祉介護の連携ネットワークも生駒市は行っていますので、どのような形でうまく繋いでいけて、まさに市民の皆様のご意見が生駒市立病院の運営だけではなくて、さらには医療、介護、福祉というところでどう反映できるのかという様なことも市としてもしっかりと考えていきたいという風に思います。

今日で一つ節目になりますけれども、色々なご意見をいただきました。会員の皆様方におかれましては、最後院長先生からのお話であり、かつ私も含めて宿題というか考えていく一つのきっかけというかお話をいただいたと思いますので、ぜひ皆様方におかれましては、引き続き生駒市立病院また生駒市の医療、福祉のあり方につきまして、ご検討いただきまして、地域の方に発信もしていただきますようお願い申し上げます。

大変長くなりましたけれども、予定の時間よりはだいぶ早く終わりそうです。本日は本当に様々なご意見をいただきまして、ありがとうございます。まだコロナ禍が続いておりますので、皆さんくれぐれもお体には気を付けていただきつつ、引き続き生駒

市の市立病院、まちづくりの方にお力をいただきますようお願い申し上げまして、本日の会議を終了とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

— 了 —